



陸軍省事務嘱託従三位勳二等平生 鈿三郎  
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

右

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十三年二月二十三日

内閣總理大臣公爵近衛文麿

陸軍省 陸軍第一七二号

陸軍

人往第二六三號

親任官ヲ以テ待遇セラレ度件稟議

昭和十三年二月廿一日

陸軍大臣 杉山

九

内閣總理大臣 公爵 近衛 文磨 殿

北支ニ於ケル經濟開發ニ關スル軍ノ最高顧問トシテ左記ノ通り命課  
詮議中ノ處本人ノ經歷社會的地位並ニ今次使命ノ重大性ニ鑑ミ特ニ  
優遇ノ必要有之親任官ノ待遇ヲ賜ハル様特別ノ詮議方配慮相煩度

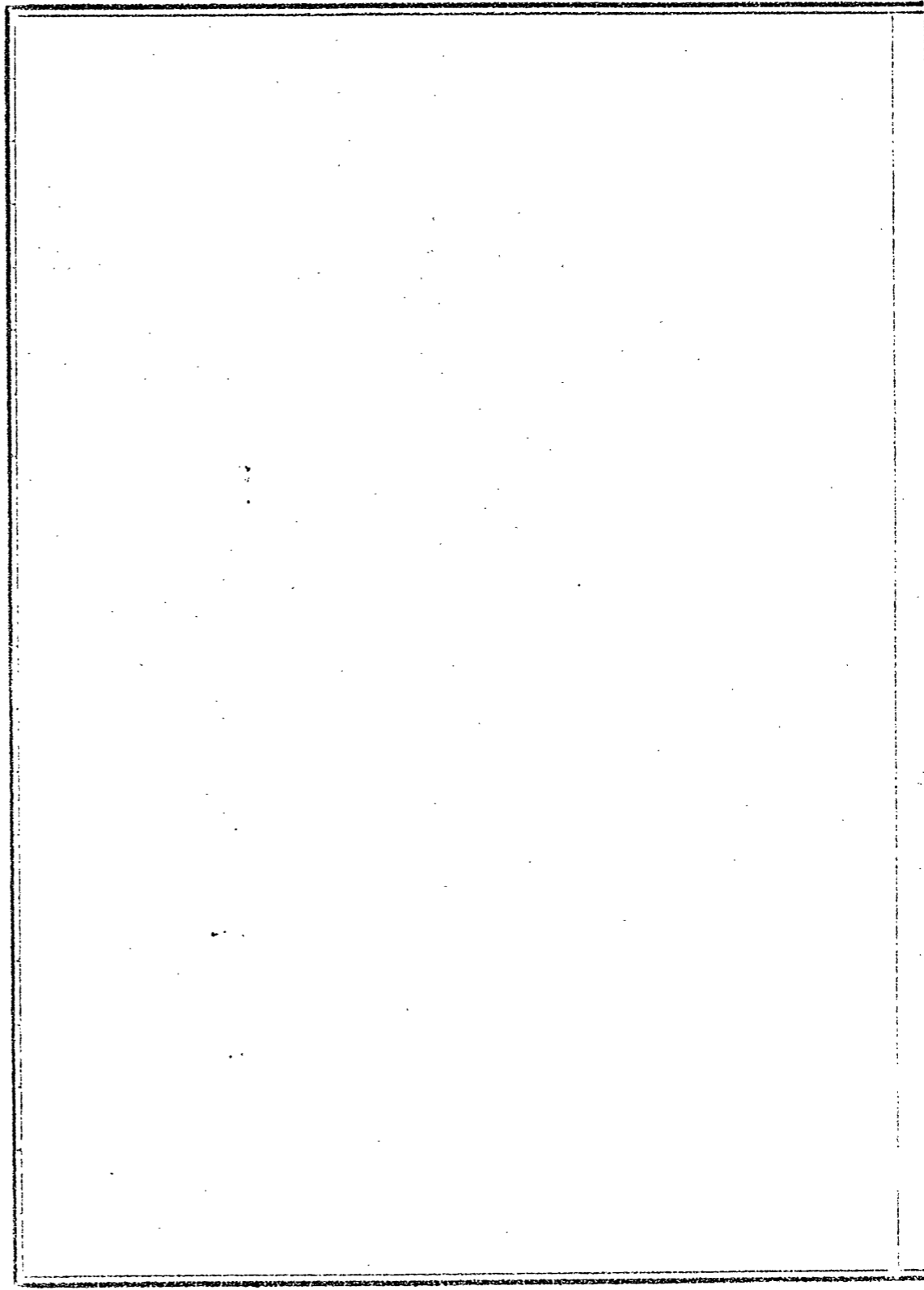
左記

陸軍省事務囑託 平生 鈞 三 郎

北支那方面軍司令部附ヲ命ス

昭和十三年二月二十三日裁可  
陸軍省 官記簿連清  
官報 協成

大  
人  
自  
身  
記  
録



大阪府

慶應五年五月貳拾五日生

平生 釵三郎

明治廿三年七月 東京高等商業學校卒業

同 東京高等商業學校助教諭拜命

明治廿四年三月 依願退職

同 韓國仁川海關封事辨拜命

明治廿六年三月 依願退職

同 兵庫縣立商業學校校長拜命

明治廿七年七月 依願退職

昭和三年十一月十日 敘勳五等授瑞寶章

昭和十年十二月三日貴族院令第一條第四號ニ依リ

貴族院議員ヲ命ス

昭和十一年三月 任文部大臣

同 敘從三位

賞勳局

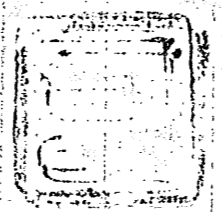
内閣

同

宮内省

昭和十一年六月十三日 敘勳四等授瑞寶章  
同 十月一日 敘勳三等授瑞寶章  
昭和十二年二月一日 敘勳二等授瑞寶章  
同 二月二日 依願免本官

賞勳局  
同  
同  
内閣



陸軍大將正三位勳二等功級男爵本庄 敏系  
任傷兵保護院總裁

右

勅ヒ日ヲ奉ニ謹テ奏ス

昭和十三年四月十四日

内閣總理大臣公爵近衛文麿